

ごあいさつ

皆さまには、平素より足利小山信用金庫に格別のご愛顧とお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当金庫へのご理解をより深めていただくために、本年も本誌「足利小山信用金庫の現況2010」を発行いたしました。地域における当金庫の役割とさまざまな活動、経営課題への取り組みおよび業績など、わかりやすい編集に心掛けました。ご一読いただければ幸甚でございます。



足利小山信用金庫は、地域に根づいた確固たる金融機関となるため、昨年4月に3カ年にわたる中期経営計画を策定し、全役職員が意欲的に取り組んでおります。

平成21年度の具体的な施策として、ご相談にお応えするためのコンサルティングプラザを小山に引き続いて昨年10月に足利にオープンしました。預金商品では退職金専用定期「ゆとり定期預金」および年金受給者向け定期「年金ゴールド定期預金」の取り扱いの延長、融資商品では子育て支援融資商品「子育て応援プラン」、「ビジネスサポート1000」の取り扱いを開始し、さらに、保険商品や個人年金商品のラインアップを充実いたしました。

今後の経営環境を展望いたしますと、我が国経済は低迷を続け、また苦境に立たされている中小企業等を追い討ちするかのようにデフレ不況も進行していることなど、地域経済は依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、地域金融機関である信用金庫は、相互扶助の理念と特性を発揮するとともに、金融円滑化法を踏まえ、地域金融、中小企業金融等の一層の円滑化への取り組みが求められております。

当金庫はこうした状況に的確に対処するため、中期経営計画の2年目にあたる平成22年度は前年度に引き続き、右掲の経営の基本理念に基づき、適切なリスク管理の下、金融仲介機能を積極的に発揮し、取り巻く経営課題に適切に対処してまいり所存であります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年7月

理事長 藤田 洋行